

NIC あれこれ探検隊

このコーナーでは、日ごろあまり表に出ることのないNICの事業やボランティアスタッフの活動などをご紹介します。みなさんの知らなかったNICのあれこれを見つけてみてください。

NIC相談窓口から — 外国人行政相談 —

年間約1000件もの相談が寄せられる「外国人行政相談」の内容は、税金、健康保険、在留資格など多岐にわたっています。ここでは、相談事例の一つとして「印鑑登録」についてご紹介します。

「印鑑登録に漢字は使えないと言われた」

Q 外国人の知人が印鑑登録に漢字を使っているの、私も漢字で印鑑登録をしたいと区役所に申し出たら、できないと言われた。どうしてか知りたい。

A 印鑑登録証明制度は、契約書などの重要書類に捺印された印鑑(実印)がまちがいなく本人のものであることを証明する制度です。

名古屋市の印鑑条例によれば、印鑑登録ができるのは名古屋市の住民基本台帳に記録されている人と規定され、15歳未満の人及び成年被後見人は除かれています。登録できる文字は、住民基本台帳に記録されている



▲行政相談員と相談者

「氏名」「氏」「名」「旧氏」または「氏・名・旧氏」の一部で組み合わせられた文字(組み合わせによっては、登録できない場合もあるようです。)と定められています。

外国人住民の場合、住民票に記録されている氏名(在留カードまたは特別永住者証明書に記載されている氏名)のほか、住民票に記録されている「通称名」または住民票備考欄に記載されたカタカナ表記や簡体字についても登録できる場合があります。

あなたの場合、住民票に漢字による「通称名」の登録をしていないとのことですので、漢字での印鑑登録ができません。「通称名」で印鑑登録するには、社会生活上日常的に用いられていることを立証できる「通称名」を、市区町村の窓口へ申し出て住民票に記載してもらう必要があります。

印鑑登録証明制度は市区町村の条例等で定められていますので、詳しくはお住まいの市区町村の役所で確認ください。

★外国人行政相談については、NIC情報カウンター ☎052-581-0100までお問い合わせください。

NIC レポート

外国人の「心」と「からだ」健康相談会

外国人住民の健康をトータルサポート!

1月26日(日)に、名古屋市健康福祉局、(特活)外国人医療センターとの共催で「外国人の「心」と「からだ」健康相談会」を開催し、外国人51名が参加しました。ご自身の健康管理と、日本の医療や福祉の制度を知ってもらうため、毎年開催しています。今年は、医療従事者による問診や歯科検診等の検査、結核検診、助産師による「女性のための健康相談」に加え、(社)名古屋社会福祉協議会の協力により「65歳以上の人の介護と生活相談」を行いました。参加者からは、「日本での老後について」、「出産後の健康状態」、「育児」についてなどの相談がありました。



▲老後の相談をする外国人住民

外国人市民は、言葉の問題で医療機関を受診しづらい、健康診断の結果がわからない、医療や、福祉の制度がわからない場合があります。名古屋国際センターは、関係機関と連携し、医療や福祉の制度についてわかりやすい情報提供に努めます。

ピアサポートサロン

子どもの健康と幸せを願う気持ちはみんな同じ!

学校への疑問や子育ての悩みなどを共有できる仲間づくりの場を目的に、ピアサポートサロンを開催しました。12月~2月に各1回開催し、外国人25名、日本人20名の方に参加いただきました。「子どもと接する中で、こうしたいこと、こうしなかったことは?」というテーマでは、「パートナーの帰りが遅いので一人で子育てするのがつらい」という外国人のお母さんの悩みに、「子育ての支援センターへ行ってみては?」など参加者の経験からのアドバイスが飛び交いました。国籍に関係なく悩みを持ち、「悩んでいるのは私一人だけではないんだ」と安心を分かち合う場になりました。一人ひとりの悩みに耳を傾けることで、サロン終了後も会話が途切れることなく、情報交換をする参加者の姿がありました。仲間づくりの第一歩から、交流が続くことを願いながら、今後もこうした場を提供していきます。



▲子育てについて語り合う参加者

ぶらり ライブラリー

特に目的があるわけではないけれど、ぶらっと来てみたら、気になることに出来る場所。このコーナーではNICライブラリーと、ライブラリーの本をご紹介します。NICライブラリー 名古屋国際センタービル 3階 9:00~19:00 月曜休館

NICライブラリーの魅力に迫る!

名古屋国際センターのライブラリーは、一般の図書館と少し違い、国際理解や多文化共生、各国紹介などの分野に特化した書籍や資料を中心に揃えています。今回は、NICライブラリーならではのコーナーをご紹介します。

◆親子絵本コーナー

世界の絵本がおよそ4,600冊あります。海外の珍しい絵本のカラフルなイラストを見るだけでわくわくします。文字が読めなくても、どんなことが書いてあるのか、イラストを見ながら想像するだけで楽しくなります。また、日本の絵本の外国語版を探して、両者を見比べながら読むのもおすすめです。



学習者向けの日本語教材をレベルごとに見ていくと、その答えがわかります。

日本語コーナーは、私たちが「やさしい日本語」を学ぶ際にも役に立ちます。



◆DVDコーナー

世界遺産や紀行シリーズのほか、教育や環境問題を追ったドキュメンタリー作品が並んでいます。また、子ども向けのアニメは、外国語の字幕や音声が付いたものも多数あり、語学を学ぶ方にも人気です。

◆日本語コーナー

日本語学習者向けのテキストだけでなく、日本語を教える方のための本も充実しています。外国人とコミュニケーションをとるとき、「話せます」より「話すことができます」と表現する方が伝わりやすいと言われてはいますが、それはなぜか…

大きなライブラリーではありませんが、海外の本や外国人の方の利用も多く、グローバルな雰囲気がある反面、どこかホッと落ち着けるような空間です。ぜひ、ご利用ください。

クイズ Q. NICライブラリーは、年間どのくらいの方が利用しているのでしょうか。

(読者調査) 1年あたり約1000名 (注: 調査対象はNICライブラリー利用者)

グローバルに活躍する若者たち

若者が語り合う自由な場を目指して「グローバルユースカフェ」

「グローバルユースカフェ」とは?

「海外に行きたい」「世界の出来事に関心がある」という若者が集い、語らい、一歩踏み出す「つながりの場」として実施しているイベントです。2018年から開始し、毎回様々なテーマで行っており、多くの若者の交流を生み出してきました。最近開催したイベントをご紹介します。

留学生とみつける!名古屋の魅力

2019年 10月実施

「海外で出身地を尋ねられたら?」をテーマに、留学生3名をゲストに迎えて名古屋の魅力探しを行いました。知っているようで知らない地元の魅力を、留学生との意見交換から発見し、最後には寸劇やFacebookなどのユニークな方法で名古屋をPR! 同世代同士、大いに盛り上がり、どんどん新しい発見や個性的な表現が生まれていきました。



▲留学生を交えて名古屋を「再発見」



▲寸劇で名古屋のくらしやすさをPR!

海の向こうから生中継!海外暮らしのリアル

2020年 1月実施

日本から海外に移り住んだゲスト3名とビデオ通話をつなぎ、海外で活躍する楽しさや難しさなどリアルな声を届けました。時間も気候も違う国で暮らすゲスト同士で共感あう点があったり、日本の参加者から海外ゲストへ質問を投げかけたりと、4か国をまたいだ若者の交流を生み出しました。



フィリピンの現在の気温は20度以上!

カナダは深夜。外は雪が積もっています!

中国は春節のお祝い真っ最中!

▲参加者からの質問に、カナダ・フィリピン・中国からゲストが回答!

グローバルユースカフェの最新情報は、「NIC Global Youth プロジェクト」FacebookやNICウェブサイトを中心に公開しています。ぜひチェックしてください!

☎ 交流協力課 ☎052-581-5689 ✉ koryu@nic-nagoya.or.jp

